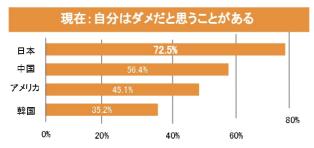


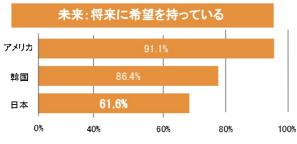
2021年度_事業報告書

1.取り組み

1.課題



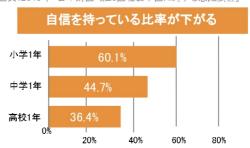
出典: 平成27年 高校生の生活と意識に関する調査報告書



出典: 平成26年版子ども・若者白書



出典:2019年 日本財団「第20回社会や国に対する意識調査」



出典:2015年~2017年 東京大学社会学科研究所×ベネッセ教育総合研究所

日本の子ども若者は、自己肯定感が低い。自分のことがダメだと思い、将来に希望を持てず自分を 取り巻く日本社会もよくなると思う子どもや若者が少ない。それでは彼ら彼女らの自己肯定感がある 日突然低くなってしまうのか。というとそうではない。小学1年から学年が上がるにつれて徐々に自 己肯定感が下がってしまう。

2.目的

災害や少子化、及び過疎化などの影響により異世代間交流の機会が少ない子どもたちに対し、積極的な交流活動を行うことで、子どもたちの社会性や対人関係能力を育成し健全で心豊かな成長に寄与することを目的とする。



3.ビジョン

「自分の人生を1からデザインする楽しさであふれる社会」の実現

これまでは、偏差値の高い大学に進学し大企業に就職することで年功序列賃金、終身雇用で定年を迎えます。家や車を買い、子どもを育てることが幸せな人生である。ネットが普及する前まではごく一部の作られた人生の型を誰も疑う事をしません。しかし、これだけ世の中は不(課題)で溢れ、ネットが普及した世の中で上記の幻想も完全に消え、同時に「生きる意味」がわからない!子ども・若者が増えてしまい、どうしたら稼げるか、どうしたら安定した暮らしが手に入るのかという「他者軸」の生き方選びではなく、自分がどうしたいのか、どのような人として生きていきたいのかを考え、「自分軸」を持って選び挑戦することが必要だと考えます。

一般社団法人ことばでは、日本中の子ども・若者が 『この人生でよかった!』 『生まれてよかった!』 と笑い合っている社会、つまり、「自分の人生を1からデザインする楽しさで溢れる社会の実現」を目指す。

4.ミッション

子ども・若者に『自分の想いに気づき、伝え、実現する場』を提供する。

インターネットの普及により自分で考え仮説を立てる前に他の人の意見や正解に触れる機会が増えてしまいました。自分の心と対話する時間も減ってしまい自分の考えを「言葉」にして、他者と語り合うことで考えを深め、整理する機会がすくなくなってしまった。

そんな若者を対象に 私たちは人との対話や交流を通して原体験を振り返り考えを深め「個」を考え、自分の「言葉」にし挑戦できる場を提供することが使命だと考えます。

5.目標

2021年は、新型コロナウイルスの影響で事業がオンライン中心になることが予想されます。その中でできることだけでなく、この状況だからこそできること、今だからできることを中心に事業を展開していく。

今年度からは、大学生ボランティアが年間通して活動する形からプロジェクトごとに参加して解散 していく形をとり、これまで以上により多くの大学生が参加できる仕組みを作る。

今年度は、岩手県以外の地域で活動を開始するとともに課題が明確な地域や子ども若者にサポートを実施していく。



2.組織運営について

1.総会開催

- 2021年5月14日(金)2021年度の通常総会を開催。
2020年度の事業報告/収支決算
2021年度の予算と事業計画/予算
2021年度の役員選任と辞任

2. 理事会開催

- 今年度は下記の4回理事会を開催した。

第1回理事会 2021年5月14日 (金)

第2回理事会 2021年8月20日 (金)

第3回理事会 2021年11月12日 (金)

第4回理事会 2022年2月18日 (金)

3.事務局体制

- 事務局長を配置して事務局の統括を行った。

- 事務局を部門ごとに役割を明確にし学生インターンを採用した。

事業部・・・僕らの夏休みProject、僕らの出張ミライ会議、まなびば

総務部・・・経理、会計、事務等

広報&FR··HP、SNS、資金調達 等

4.マンスリーサポーター

- 2022年度3月末時点サポーター数79名

①イベント

- サポーター新年会

日時:令和4年1月24日20時~22時

場所:オンライン (Zoom)

参加:10名 (スタッフ5名)

②リターン

- 認定証、ニュースレター、活動報告書の送付

- FBグループを活用した情報共有/報告(74投稿)

※サポーター限定の投稿も実施した。既に完了した事業の報告だけでなく、構想段階のこと についても報告しています。





③サポーター一覧(敬称略:順不同)



武藤和香奈、番匠谷拓実、佐賀ゆり香、増田恵美、杉山直紀、百合草敦郎山本安紀子、頼田一樹、岸谷薫、池上香菜子、岡村玲、加藤健太、宇津木克也中津川南美、三浦早織、岡祐輔、澤邊真実子、樋口達郎、野村茂雅、神村美里鈴木里香、矢吹峰大、齋藤祐希、伊藤綾、稲垣優奈、西山慶、早川沙良、上之原良美石津雄大、逆井聖也、佐可野瑞穂、菅谷一樹、奥川一輝、佐々木茜、足立壮太郎林咲惠子、本多紗都、片石理菜、渥美裕太、阿部若菜、高橋玲衣奈、是木勇祐鈴木沙有理、金子冴月、大條誠也、筒井諒、柳瀬瑞代、松尾尚樹、伊庭千裕奥津さとみ、松尾和史、三浦弘之、佐藤黎菜、篠原岳志、勝畑大樹、手塚茉鈴小泉泰英、伊藤晴太、近藤友葵、片山隼、小島彩、清本由紀乃、舛谷一成、土橋優平西澤幸男、林裕行、森友葵、猿樂知史、佐々木秀崇、三浦和也、浦野愛莉、関口大地高本寛将、三代沢徹

5.その他

- 組織評価

グッドがバンス認証

未達成項目:中長期計画の策定及び総会での承認

達成項目 :11項目

- プロボノ支援

認定NPO法人サービスグラント「住友商事教育支援プロボノ(完了)」

認定NPO法人サービスグラント「GRANT: 顧客管理プロジェクト(実施中)ビジネスモデル整理(実施中)」



3.事業詳細について

1.ロールモデル提供事業

1.ことばのじかん

目的:学校や家では教えてもらえない様々な生き方や体験を先輩から後輩へのアドバイスを中心にYouTubeを使って発信し、住んでいる地域に関係なく子ども若者が自分の人生を見つけ、実践するきっかけとなる配信を目指す。

投稿数:5本

登録者数:153人

再生回数336回





2.ことばノート

目的:YouTubeの動画で配信された内容を中心に、文字に起こしてノート(本)にまとめて子ども若者の憧れを醸成し将来への希望がもてるようにする。また、子ども若者が自分の好きなことや今の感情を書ける欄を作成し夢の実現に向けたノートを準備する。

投稿数:5本

いいね:16

3.生き方マガジン

目的:さまざまな生き方、働き方、考え方の大人を紹介し「みんな違ってみんないい」「い ろんな生き方があっていい」を大学生に伝えていくメディアとする。

投稿数:22本

いいね:501





2.キャリア支援事業

1.大学生キャリアサポート

目的:ボランティア事業に参加した大学生を対象にした相談サポートを実施する。

対象:ことばの活動に参加した大学生ボランティア

協力者:16名

種類:教員、地域おこし協力隊、コンサルタント、システムエンジニア

ペンチャーキャピタリスト、飲食店経営、デザイン事務所経営

税理士事務所経営、フリースクール経営 等

※大学生をサポートする体制を構築したが、サービス開始は2022年度を予定。



2.僕らのまなびば

1. 岩手モデル

目的:学年が上がるにつれて勉強の難易度が上がりに自信のある子どもが減少する。そのため、勉強への拒否反応が出ないように「まなぶを楽しく」をテーマに実践する。学力を低下させずに維持、向上させることが自己肯定感の向上につながり、将来に夢や希望を持つ子どもが増える。

開始:2021年9月3日スタート毎週金曜日

対象:僕らの夏休みProjectに参加した児童

料金:2,000円/月

形式:オンライン寺子屋形式(集団)

申込:0名(公式LINE友達追加 0名)

今後:岩手の子ども達を対象に実施することは無期限延期とした。

理由:①各家庭のwifi環境等が整備されていない。

②チラシや広告、公式LINE等に反応がない。

③サービス開始説明会等が実施できず丁寧に説明ができなかった。

④参加する大学生の満足度も下がる。





2.豊島区モデル

目的:新型コロナウイルスの影響で休校等が実施されたことで在住外国人の子どもや外国に ルーツを持つ子どもたちの学習に遅れが出てしまった。しかし家庭学習では保護者や子ども の習熟度が高くなければ実践することが難しい現状で大学生ボランティアがサポートするこ とで学力の向上を目指す。さらに教員を志す大学生ボランティアに指導実践の場を提供する ことで大学生の学びにも活かす。

開始:2021年8月3日スタート毎週火曜日→8月末事業中止

2022年2月20日~3月27日毎週日曜日→まなびば教室再開

対象:在住外国人、外国にルーツを持つ子ども

料金:8月~4,000円/月 → 2月~無料開催

学生:上智大学(2名)東京外国語大学(1名)武蔵大学(1名)共立女子大学(1名)

児童:延べ24名(日本人)

助成金:東京都在住外国人支援助成事業 (採択)

申込:0名(公式LINE友達追加)

広報:①SNS (Facebookページ、PIAZZA作成)

②チラシ設置2箇所(中国料理店、インド料理店)

協力: 豊島区教育委員会、子ども家庭部、多文化共生推進課、

NPO法人としまNPO推進協議会、株式会社養老乃瀧、NPO法人Mother'sTreeJapan ※1ヶ月間事業を実施したが、申込がなかったため各種ヒアリングや情報収集を開始した。 ※その後、豊島区池袋小学校と連携して放課後学習支援(チューター)を10月から開始した。 月曜、水曜、金曜で1~3年生を対象に学習サポートを実施し子ども達との関係構築を行った。

※今年度中は対象とする子ども達にアプローチはできなかったが、事業実施に勤めた。 ※第16回社会貢献活動見本市に参加して「オステリアサンテ賞」を受賞した。







3.教育評価軸の作成活用事業 ※2021年度実行事業なし。

4.イベント企画コーディネート事業

- 1.僕らの夏休みProject
- 1.第一期(in岩手:オンライン開催)

目的:災害や少子高齢化、及び過疎化の影響により異世代間交流の機会が少ない子どもたちに対し、積極的な交流活動を行うことで、子どもたちの社会性や対人関係能力を育成し健全で心豊かな成長に寄与することを目的とする。

大学生は、自分の幼少期を振り返り自分の想いに気づき、言語化し同じ目的を共有した仲間 に伝え企画実践する中で「個」のキャリア形成に繋げる。

日時:8月7日~9日の3日間開催(8月1日~31日までオンライン配信の企画を開催中です。)

研修:4回の研修を実施

- ①自己分析(自己理解)@オンライン
- ②チームビルディング@養老乃瀧
- ③企画内容ブラッシュアップ@養老乃瀧
- ④企画実践演習@オンライン



協力:株式会社類設計室(研修サポート※3回目まで)

養老乃瀧株式会社(会場無償提)

一般社団法人陸中みやこ青年会議所(共同企画)

岩泉町、宮古市、山田町、大槌町、釜石市小学校(チラシ配布)

開催:①各施設で実施(※感染拡大で8月7日のみ)②各家庭でそれぞれ参加

児童:29名(※2019年度会場実施時の3%程度)

協力:6名の社会人(教員、地域おこし協力隊等)と宮古短大生が現地でサポート





2.第二期 (in豊島)

目的:災害や少子高齢化、及び過疎化の影響により異世代間交流の機会が少ない子どもたちに対し、積極的な交流活動を行うことで、子どもたちの社会性や対人関係能力を育成し健全で心豊かな成長に寄与することを目的とする。

大学生は、自分の幼少期を振り返り自分の想いに気づき、言語化し同じ目的を共有した仲間

に伝え企画実践する中で「個」のキャリア形成に繋げる。

日時:2021年12月5日(日)

場所:豊島区立池袋第二公園、みんなのえんがわ池袋

児童:15名

協力:豊島区立池袋小学校(チラシ配布)

NPO法人としまNPO推進協議会(後援/会場提供)



2.第三期(in岩手:オンライン)

目的:災害や少子高齢化、及び過疎化の影響により異世代間交流の機会が少ない子どもたちに対し、積極的な交流活動を行うことで、子どもたちの社会性や対人関係能力を育成し健全で心豊かな成長に寄与することを目的とする。

大学生は、自分の幼少期を振り返り自分の想いに気づき、言語化し同じ目的を共有した仲間 に伝え企画実践する中で「個」のキャリア形成に繋げる。

日時:2022年3月12日(土)13日(日)10時~15時

場所:岩手県立岩手大学宮古短期大学部

児童:11名

大学生:7名

協力:岩手県立岩手大学宮古短期大学部(会場提供)

陸中海岸青少年の家(人材派遣)

宮古市教育委員会(後援)

宮古市内小学校 (チラシ配布)





3.僕らの出張ミライ会議

目的:高校生の進路選択における経済的負担(オープンキャンパス等)を軽減し、多彩な選択肢から心が動く選択肢を高校生自身が見つける。リアルな「先輩の声」で不安を解消することで高校生の有意義な進路選択の一助となることを目的とする。

日時:2022年3月6日(土)

場所:YouTubeオンライン配信

大学生:10名

協力:宮古市教育委員会(後援)

岩手県立宮古高校 (チラシ配布)

NPO法人みやっこベース (会場提供/案内)



4.おおくまハチドリプロジェクト

- 目的:10周年に際し活動のきっかけである東日本大震災を新たな角度から考察するため新しい地域への活動規模拡大のきっかけにするため、本格的な企画立案の経験によりことばの活動(僕夏など)の企画力を充実させるため



~東日本大震災から10年・大熊町の未来を創造するアイデアソンプログラム~

- 5. 目的達成に必要なイベント/セミナー等の企画/開催事業 ※2021年度実行事業なし。
- 6. その他前各号の目的に資するために必要な事業 ※2021年度実行事業なし。